

2023年(令和5年)

第53号

(7月1日)

平安だより

HEIAN letter

発行所：立正佼成会 京都教会
 発行責任者：渉外部長 澤村悦玄
 編集委員長：渉外広報 植田恭司
 〒605-0041 京都市東山区三条東町 230
 TEL (075)762-2211 FAX (075)762-2266

今月のことば ～身心を養う「食」とは～ 乙訓支部会計 松井孝予

今月は乙訓支部の松井がお役を頂きました。

7月のご法話では、感謝や思いやりにあふれる言葉と人に寄り添うあたたかな行いが「心の栄養」になると教えて頂きました。今まで私が捉えていた「心の栄養」とは全然違う奥深さです。新鮮な驚きと喜びで7月にはどんな心構えで過ごさせて頂こうかと心を定める機会を頂きました。ありがとうございます。

6月は会員教育1、ウキウキ家庭共育で、お相手の心をそのまま受け取らせて頂く事を学ばせて頂き、支部長さんに噛み締めて頂いてからは、自分の思うように言葉を発した時の気持ちを味わったり、お相手の心に共感させて頂いて、心のありかを分からせて頂くことが嬉しいと感じるようになりました。

家庭共育では「親が変われば、子どもが変わる」と教えて頂いていますが、私は「子どもをこう変えたいから、私はどう変わろうか。」という交換条件の実践でした。大事なのは私自身が人格完成に向けて精進させて頂くことと気付かせて頂きました。私は娘が宿題の他にも自主学習をする時間を増やして欲しいと思っていました。しかし、娘が最低限の学習時間なのは、私が最低限の家事をすればよいという気持ちと同じであると気付かせて頂きました。

また、家庭共育にお手取りしたお友達の問題の大きさに驚き、ご先祖供養を説かなかった自分を責めていましたが、支部長さんに「松井家のご先祖様はどう

か？」と教えて頂きましたら年回の親戚がいらっしゃいました。

月末には、再交付のご安置のご供養をお役の方に来て頂くお手配を頂きました。土日には主人にも手伝って頂いてご宝前を整えさせて頂くと気持ちがすっきりして、お役の皆さまとのご縁がしみやかな気持ちになりました。しかし、前日には家の片付けが思うように進まず、緊張と不安で支部長さんに聴いて頂きました。そして家を整える事は自分の為に日々継続する事、ご安置の日がゴールでなくてスタート。と教えて頂きました。主人の仕事がハードで疲れているけれど、それは私にはどうにも出来ないと感じている事も聴いて頂きました。すると、主人が家でくつろげるように家を整え、食事の用意を工夫する事など、私にもさせて頂ける事があると教えて頂きました。

このように6月は大事なことを気付かせて頂きました。一方では、今まで何をしてきたのか？自分の至らなさがっかりする気持ちがありました。そんな私をサンガの皆さまは「今、気付けてよかった。」「コツコツとお手取りしての今。」とあたたかく前向きな受け取り方を頂きました。まさに最高の「心の栄養」を頂いていました。

今月は私も「心の栄養」になる言動をさせて頂くこととお誓いさせて頂きます。ありがとうございました。

あなたのお仕事を教えて下さい ～宇治支部 川崎泰弘さん～

Q：仕事先はどちらですか。

A：ムラテックKDS株式会社 国際部 海外営業課

Q：どのような仕事内容ですか。

A：カッター、メジャーなどの製造・販売を行っており、輸出船積業務に携わっています。海外営業課ですので、社内メールは日本語ですが、海外との通信は英語になります。

村田機械株式会社を36年間勤め、60歳定年退職後にグループ会社である現在の会社に就職しました。5年間の再雇用契約を終えて今年5月からは契約社員として勤務しています。

村田機械では海外営業、輸出船積業務に携わってききましたので、現在の会社では業務に携わりながら、これまでの経験と知識をお伝えさせて頂いています。

Q：仕事中心に心掛けていることがあれば教えて下さい。

A：元気に穏やかに周りの方に接することに努めています。

メールでの連絡には、きつい口調にならないように心がけています。それでもメールを送信した後に、もう少し優しく伝えられなかったかと反省することがあります。日々精進です。

令和5年、私たちは「日々感謝 にこにこ元気に出会いたい ありのままの私から」を実践して参ります。

京都教会のホームページもご覧下さい。https://rkk-kyoto.jp/